

30日、女子高生のためのウエディングフェア

結婚式体験で わくわく感を

山形商高の産業調査部が30日、山形市の結婚式場「オワズブル―山形」で、女子高生向けイベント「高校生のためのウエディングフェア」を開催。企画した部員2人は全員女子。「結婚式を体験してもらうことで将来結婚する人を増やし、人口増につなげたい」と大きな目標を掲げる。

午後3時開始で、各校の制服を着用した先着100人が参加できる。目玉はウエディングドレスの試着。結婚式に関するクイズを出し、成績上位4人がドレスを身にまとい、花嫁きながらランウェイを歩く。

記念撮影用の小物作りのほか、フワフワシャワーとケーキの体験もできる。ウエディングプランナーの仕事も学べるコースで、会場のスタッフが高校生の質問に答え

る。イベントは昨年9月に市内であったフワフワフェアに部員が参加し、ドレス試着や模擬挙式の見学から着想を得た。

部長の須藤あまねさん(17)は「結婚を意識していなかったが、ドレスを着たらみんなに祝福されたいという思いが強くなった。多くの高校生に結婚式のわくわく感を味わってほしい」と狙いを説明する。部員は会場担当者との交渉

山形商高生、ドレス試着など企画

「目指すは人口増」



ウエディングフェアのポスターを掲げる産業調査部の部員たち

をはじめ、プログラムの検討や小道具製作といった準備を進めてきた。

イベントは同部が2016年度から取り組むテーマ「人口増大計画」の一環。部員は、少子化の影響をきまぐれや親戚の結婚式に参加する機会が少ない点に着目した。結婚を身近に感じられないことが

婚姻率を下げ、人口減が進む一因になっているとの仮説を立て、対策を考えてきた。

会場を無償提供するシヨインセシモニー(山形市)の武田靖子常務は「高校生が人口減を自分たちの将来に関わる身近な問題と捉えて行動したことに感銘を受けた。若い頃から結婚を含めたライフデザインを考えるきっかけになってほしい」と期待を寄せる。